



学びと誇りが実感できるまち

～10年後のふるさとを提案！～

平成30年10月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人

赤とんぼ筑波に雲もなかりけり

正岡子規

各学校では、毎年、秋のシーズンを中心として「公開研究会」を行います。これまで取り組んできた授業改善や教育活動の研究成果・課題等を提案・発表します。また、11月には「学校へ行こう週間（11月初旬）」もあります。

保護者の皆様はもちろんのこと、これから学校へ入学する子供の保護者の皆様、地域の皆様も、近隣の学校へ出かけ、子供たちが意欲的に楽しく生活を送っている姿や課題解決に取り組んでいる姿、学校全体の実践状況や雰囲気、教職員の研究姿勢などを参観してください。

さて、今回は「庄原市教育フォーラム」のことです。

今年は、子供たちの心にふるさとの愛着と誇りがもてるようにと願い、その取り組みの一環として「10年後のふるさとを考える」をテーマにしています。

これまでも、ふるさと庄原で培った学びや体験を基盤とした力が、どこにいてもどのような状況にあっても心の支えとなり原動力となるような教育を創造してきましたが、テーマに沿って、庄原の良さや魅力、課題等と正面から向き合う内容を構成しています。

1	日時	10月28日（日）	受付：12時30分
2	会場	庄原市民会館	
3	日程	13：00～13：10	開会行事
		13：10～13：30	小学生による発表（東城小学校） 合唱「ふるさと讃歌」
		13：30～14：40	中学生による提案（各中学校） 「私たちが創る10年後のふるさと庄原」
		14：50～16：00	講演 藤原和博氏 「10年後、君に仕事はあるのか？」
		16：00～16：10	閉会行事

小学校の発表では、ふるさとへの思いを合唱に込めて歌い、中学校の発表では、それぞれの中学校が、将来のふるさとについて、庄原の魅力発信プランとともに考え、協議し、練ってきた提案を行う予定です。講演では、世界を取り巻く日本の環境などを背景に、藤原和博氏から「10年後、君に仕事はあるのか？」という演題で、今後の社会をたくましく生きていくために、参考となる内容や話題が提供されるものと期待をしています。特に、これからの進路を考えていく若い世代の皆様には、仕事で重要なことは何かを考えるヒントが見つかるかもしれません。是非、参加してください。